

労様でした、お帰りは良い旅でありますようにとの温かいお言葉で送っていただき、今回このすばらしい体験の機会を与えていただいた、

とても短時間で習得したものは思えぬ素晴らしいものでありました。改めて各国の受講者の優秀さに感激致しました。

この様な機会を与えて頂いた関係各位に深く感謝するとともに、この一期が縁となり、一會が重会となり、全世界に日本の武道の素晴らしさを広く普及しなければならぬと思いました。

結びに、国際部の益々の発展はもとより、一般社団法人大日本武徳会の隆盛をご祈念申し上げます。

武徳会国際部居合道指導に参加して

長野県支部 古武道唯心会

夢想神伝流居合道

小松 秀敏

今回夢想神伝流居合を国際部の面々に指導すべく、目黒信良先生の門下生として初めて参加させていただきました。夢想神伝流の教えを乞うて来日した外国人は、フランス・アメリカ・ドイツをはじめ二十三名。居合経験の長い十二名と、まだ経験の浅い十一名のグループに分け、私は経験の浅いグループを担当させていただきました。私とて目黒先生の道場の末席に座るものとして、夢想神伝流の理合・礼法・刀法・目付・残心等をいかに理解して技術を、二日間という短い期間に体験・習得してもらおうか、参加者と一緒になって考え修練しました。

まず私が模範となって演武し、理合を説明し、刀法・目付・残心等

刀法を含め形を行ない、その出来栄は見事なものでありました。

また、講習会后、武徳殿において、受講成果を発表する演武を見て、

の注意点を説明し、彼らに何度も何度も繰り返し実施させました。居合は単に素早く抜き切りつけることではなく、間近に相手がいて、後の先を理解し、相手が今どこに居るのかを目線・目付で感じ、抜き附け切りつけ、その後の相手の動きを予想する残心を培うことを反復練習させました。

時には全員で相向き合って抜き合ったり、私とも向き合って刀法・間合いを確かめ合ったり、着座するとき・刀札等にゆっくり且つ辺りに気を配る練習をしました。

来日した彼らは真面目で礼儀正しく素晴らしい人たちでした。初日は初伝の三本のみを、何度も何度も立ったり座ったりの繰り返しを嫌な顔もせず、真剣にしている姿は素晴らしいものを感じました。時には手取り足取り教えるのですが、たまに触る手などは汗でびしょりでした。二日目はさらに初伝の三本を教え、午後は成果発表のための熟練者との合同演武の練習でした。技術的に劣る彼らに特に指導したかったのは、姿勢の綺麗さ（いつ時も背筋がまっすぐに、特に着座するときの姿勢は厳しく指導しました）・ゆったりした動作（足の踏みかえ時、残心時、納刀時、着座時）なので、私も何度も彼らの前でやって見せましたし、彼らにもその都度、注意指導、反復練習させました。その甲斐があったのは、成果発表の時の彼らの演武でした。熟練者に負けず堂々とした雰囲気を出し、姿勢正しく落ち着いて全員そろって演武ができたとき、感動すら覚え、熱い拍手をしました。彼らとこういう機会が得られ、共に鍛錬できたことに対して、国際部の濱